

※注意：2024/8/6時点の案（変更される可能性があります）

設計施工部門・主任

2024/8/6

問題	項目	出題の内容
1	地形・地質	山麓地形、河成低地、三角州
2	地形・地質	風化作用、侵食、続成作用、整合・不整合
3	土質	鋭敏比、過圧密比、 F_L 法、含水比
4	土質	土のコンシステンシー、液性限界、塑性限界
5	地盤の液状化	液状化のメカニズム、液状化しやすい地形、液状化判定
6	読図	地形図から地形を推定する
7	盛土	沈下の原因、締固め、荷重の伝達深度、土量の変化
8	擁壁	擁壁の種類と特徴
9	地業・コンクリート基礎	ワーカビリティ、ブリーディング、アルカリ骨材反応、ポゾラン反応
10	各種調査法	地下水位測定、ポータブルコーン貫入試験、平板載荷試験、CPT
11	試験結果と考察	SWS調査結果の考察
12	地盤補強工法の選定	SWS調査結果による基礎補強の選定について
13	表層地盤改良	応力分散、固化材添加量、許容支持力度、適用に注意を要する地盤
14	表層地盤改良	施工・品質管理
15	柱状地盤改良	長期許容鉛直支持力、許容圧縮応力、室内配合試験、水平力
16	柱状地盤改良	羽根切り回数、水セメント比、スラリー比重
17	柱状地盤改良	モールドの採取、施工管理
18	小口径鋼管	周面摩擦力、支持力係数、細長比による低減
19	小口径鋼管	溶接時の注意事項、機械式継手
20	小口径鋼管	打ち止め管理、天端高さ、ねじり強さ
21	小口径既製コンクリートパイル	支持地盤、頭部処理、パイルの配置、長期許容圧縮応力の低減
22	特殊な条件下の対処	擁壁、既存建物解体、井戸跡、上空障害
23	法令・安全・倫理	公正な判断、自己研鑽、守秘義務と説明責任
24	計算	柱状改良体に必要な設計基準強度の計算
25	記述	液状化発生を抑制する対策工法